

2026年1月海洋観測結果について

1月7日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

| | 調査点 | 海底水深 | 経度 | 緯度 |
|--------|----------|----------|--------|---------|
| 赤碕ライン | ST-1 | 16m | 133.41 | 35.3100 |
| | ST-2 | 50m | 133.40 | 35.3430 |
| | 荒天のため未実施 | | | |
| | ST-4 | 95m | 133.40 | 35.4340 |
| | ST-5 | 185m | 133.40 | 35.4805 |
| 長尾鼻ライン | ST-6 | 荒天のため未実施 | | 35.4300 |
| | ST-7 | 95m | 134.00 | 35.4000 |
| | ST-8 | 70m | 134.00 | 35.3700 |
| | ST-9 | 50m | 134.00 | 35.3400 |
| | ST-10 | 13m | 134.00 | 35.3200 |

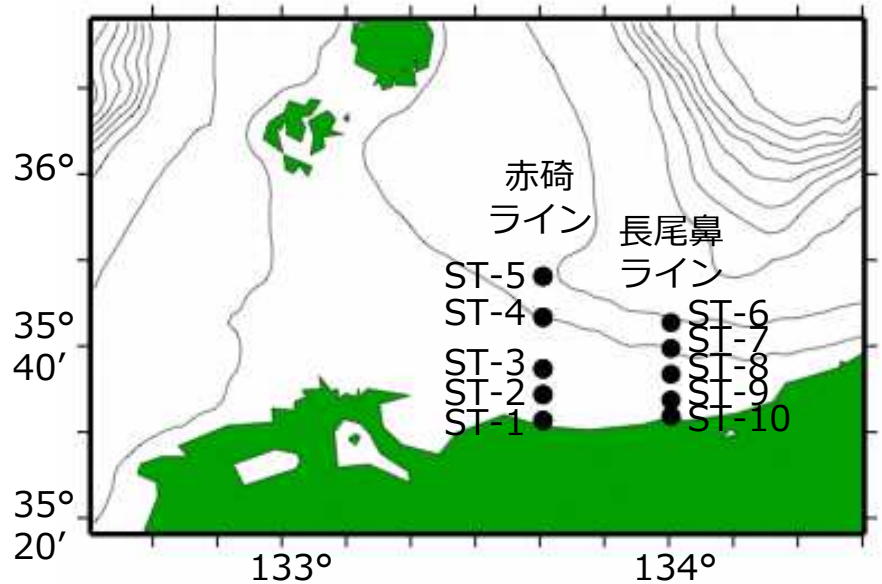


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインSt.6は荒天のため実施していません。
長尾鼻ラインは表層から水深100mまで14～15℃台でした。

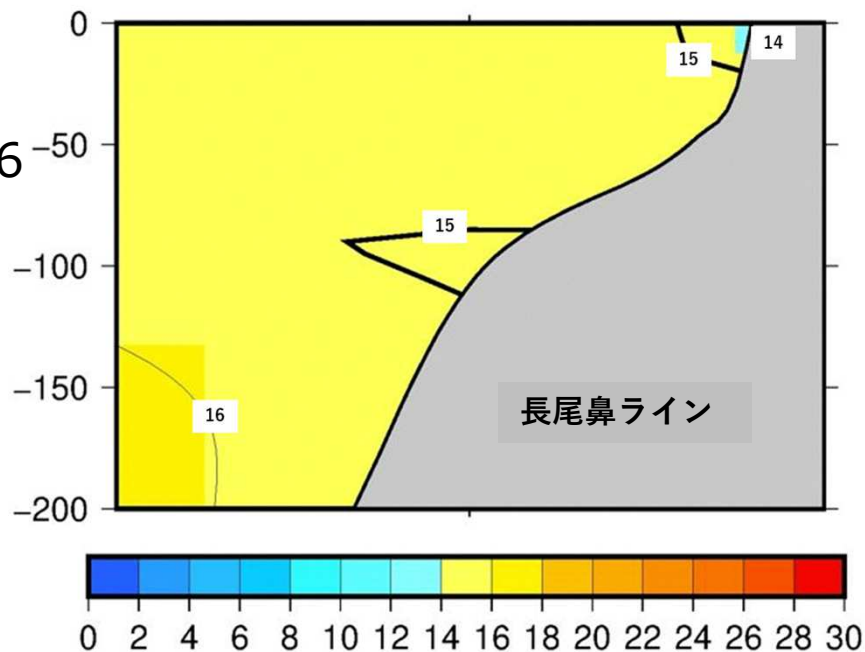


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

長尾鼻の表層から水深50mまでの水温は前月より、3.4～4.0℃低くなっていました（表2）。これは12月の平均気温は平年より5.0℃前後高いものの、11月から3.1～5.1℃と急激に低下したことによると考えられます（表3）。

また表層から水深50mまでの水温差は1.0℃以下と小さく、冬期の季節風による鉛直混合が進んでいると考えられます（図2）。

表2 長尾鼻ラインの12月と翌1月の平均水温

| 長尾鼻ライン（134° 00'） | | | |
|------------------|------|------|------|
| 水深帯 | 0m | 30m | 50m |
| 12月 | 18.9 | 19.0 | 18.8 |
| 1月 | 14.9 | 15.5 | 15.4 |
| 水温差 | -4.0 | -3.5 | -3.4 |

(°C)

表3 鳥取県の2025年12月の各旬の平均気温

| | 平均気温 | 11月との差 | 平年値 |
|-------|------|--------|-----|
| 12月上旬 | 8.5 | -5.1 | 4.4 |
| 12月中旬 | 8.5 | -3.1 | 3.0 |
| 12月下旬 | 7.2 | -4.2 | 2.3 |

(°C)

※平年値は1991～2020年の値から算出 (気象庁HPより)

参考
気象庁.“過去の気象データ検索”.気象庁.
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/nml_sfc_10d.php?prec_no=69&block_no=47744&year=&month=&day=&view=p1
,(参照2025-08-12)